

人

基礎物理学研究所

解 啓 今回いよいよ財団法人原子力研究所長に就任  
 さるることに成りまう。けり多忙と存いさうが小生  
 も貴研究所顧問として、まづ原子力委員の又  
 とし、及田おなからけり力添助として、けりけり  
 故けりによりけり腹花はけり相話下さるるが、けり  
 儲けその中に、園遊にけりけりけりけりけりけり  
 おく必要あり、まづけりけりけりけりけりけり  
 けりけりけりけりけりけりけりけりけりけり  
 定は昨午末、けりけりけりけりけりけりけり  
 候、神志を、けりけりけりけりけりけりけり  
 核素粒子の研究、けりけりけりけりけりけり  
 方針、けりけりけりけりけりけりけりけり  
 論、けりけりけりけりけりけりけりけりけり  
 けりけりけりけりけりけりけりけりけりけり



4.

かが一踏になつて入り、貴所にて協力して研究してゆ  
けるというふうな可能性もあるか  
六、元著者の論衡はどういう風にされるか（この点には  
研究者達は是れを關心を持つてゐる）これについで  
は前に学術会議の二方から学界の意見と聞くよ  
うにとの申し入れがあつたゆゑだが、それと尊重する  
るならは例えは論衡に關しては原子力問題等と  
共に論つて専門学者と地えた論衡要を学会と  
作らざる等の方法が考へらるゝ（とす）  
七、研究結果の発表は自由か  
八、身分の保障はどうか（というのは主として  
研究界の都合をやめさせらるゝというふうな場合  
の時のことと心配と意味してゐる）  
これは財団法人原子力研から新しい原子力研

基礎物理学研究所

3.

基礎物理学研究所

研究者達が最も希望すると思つてもそれが満足さへいかどうか  
 知りたかつていふのは次のようにならざるべきであらう

- 一、貴研究所の現在確定してゐる研究者のスタッフ、
- 二、研究室内は何と何とどこ、それから小どの位の人数の  
採用を考へておくべきか
- 三、これに當りては貴研究所の各面の目標(定量的  
と輸入し、それと直接連絡し利用するものなど)  
以外のものと基礎的研究とやる余地がどの位ある  
のか、例へば *Newtonian physics* の新内とか、  
量子核理論に當る新内とかかあると相を自  
由に研究ができる可能性があるのかどうか
- 四、今ある役に立つてゐなくても貴研究所の経験と  
技術の役に立つてゐる人も採用するべきか
- 五、一人々々か孤立的に入るのかなく、何人

5.

への引きつづきの問題をも関係しており、貴員ととも  
も作る事は避けたいと思ひ、いまを強いことは申し  
こせ)

基礎物理学研究所

大佐女の方の跡と研究者達が知りたかつていまの  
の貴員ととも可能な限り作る可なりな事な  
い。勿論私には貴員の立場は充分あつており  
いまのどの程度でも大小を答へにくくはあ  
らうとお察し願ひ、いまか、切角ある力  
研究、用費が口あ可業ととも政界界跡界の  
一助協力の下に満足しようとする折柄  
研究者(特に理科方面の研究者)達が長らくい  
に各々かたうたな気遣ひにならるかといふは今後の  
進展に非常に重要な影響を及ぼすと考へる

IV.3. 1954. 9. 5.000

6.

ますの「竹道」感心は重々承知の事、  
 したがって研究者  
 に代るお訊ねする次第あり  
 和自身の考として「今」も色々な機会  
 に甲しとさるるに、  
 在面の定験炸の運転利  
 用という事まつた際、他に將來に於ける色々な新  
 しい可能性の發見、進展に具して狭い枠内に  
 限らぬ比較的自由的な研究のてきよまうな  
 新内及びその小にみせわしい研究スタッフと貴  
 所にて考慮に成る必要があると思ふこと  
 一つの極端な例と申す事なく、融合及応用の利  
 の如きも「此」たる外視はてきないと思ふこと  
 今からその小に大なる金と施設をつぎこむのは時程  
 高  
 子で「今」も必要はさういふ極端の將來の  
 変化に  
 しい進展に即ちてくるようは人材と貴

基礎物理学研究所

No.3. 1954. 9. 5. 900



8.

駒形作治稿

念終から以上とくと申しうゆわたり  
ゆわたりごまかたり早く可憐の許すかたり  
詳しくけり固答りけりな けりなけり中あふかり  
まがかりけりなけりなけりなけりなけりなけりな  
けりなけりなけりなけりなけりなけりなけりな

湯川秀樹

基礎物理学研究所